

匹見地域協議会（第3回）会議次第

日時 平成30年11月13日（火）15:30～

場所 匹見タウンホール 集会ホール

出席者

（委員）藤谷 一剣・齋藤 惟人・大谷 文男・西川 友史・大久保純子
溝田 洋子・村上 巴・河本 亮・齋藤 光・齋藤 幸士

（益田市）河上副市長・藤岡匹見総合支所長・藤井地域振興課長・田中地域振興課参事
齋藤分室長・藤本分室長・井上分室長・佐々木分室長
事務局

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 協議事項

（1）今後の主要事業（匹見地域）について <資料1>

4. 報告事項

（1）合併調整項目に係る防犯灯管理区分について <資料2>

（2）『(株) ひきみ』について <資料3>

5. その他

（1）地域協議会について <口頭>

次回開催 平成 年 月 日（ ） 時 分～

主催者名	匹見総合支所地域振興課
会 議 名	平成 30 年度 第 3 回 匹見地域協議会
開催日時	平成 30 年 11 月 13 日（水） 15 時 30 分～17 時 15 分
開催場所	益田市匹見タウンホール 集会ホール
出 席 者	・ 匹見地域協議会委員（7 名） ・ 河上副市長 ・ 匹見総合支所：藤岡支所長 地域振興課：藤井課長、田中参事 井上補佐、藤本補佐、佐々木補佐、斎藤補佐 大谷

【会長あいさつ】

今のシーズンはいろいろお祭りとかあるが、どれをとっても年々人口が減り、昔のような賑わいが無い。匹見が山で潤ったいい時代もあったが、今は非常に疲弊をしている。そういう中で合併をして 14 年が過ぎようとしているが、地域からは合併して良かったという声がなかなか聞かれない。そういう中で今日、こうした議題が挙がっているのでよろしくご検討のほどお願いしたい。

【協議事項】

（１）今後の主要事業（匹見地域）について <資料１ 地域振興課長より説明>

- 現在平成 31 年度の当初予算の要求に向けて主要事業の考え方を本庁の方で意見聴取している段階であるので、この地域協議会のご意見もいただきながら支所としての優先順位を組み立てて対応したいと考えている。
- 新規事業では平成 31 年度は必要な調査や調整を内部でおこない、予算化については平成 32 年度以降としている事業も含まれている。
- 匹見総合支所庁舎耐震事業費については、建物全体の耐震化にかかる調査と設計は終了し、改修にかかる実施設計をおこなう必要があるが、この庁舎を含むタウンホール全体としてこの施設にどういった機能を持たせるのか、あるいは他の公共施設の機能を集約できる可能性があるのかといったことをこの地域協議会のご意見もいただきながら基本的な構想としてまとめていくことを 31 年度に行い、以降の実施設計に繋げていきたいと考えている。
- 健康センター修繕事業費は、経過年数等により修繕が今後見込まれていくものについて、計画的に修繕をおこなって行こうということで新規事業として計画をした。
- 匹見健康センター改修事業費及び観光施設整備事業費（匹見峡温泉周辺整備）については、匹見リフレッシュゾーン構想に基づく温泉周辺整備に関連するものであるが、この構想の策定から 14 年経過しているということもあり、社会情勢の変化、市の財政状況を鑑み内容について内部で精査、検証を行いたいと考えている。

《質疑・意見》

- 匹見総合支所庁舎耐震事業の中でのその他の改修については、今の市の財政状況でほとんどできないのではないかとと思われるが財政的な見通しはあるのか。
 - ▷ 耐震化については実施しなければならないが、周辺の公共施設等の集約、公共施設の見直し等も含め、ここが匹見地域の拠点施設となるような形で整備を進めて行きたいと思っている。
今後地域の要望する施設の整備について意見交換をさせていただいて、市としても財政的に可能なものについては整理をしていくという考え方。
- 以前からタウンホールの改修要望が出ているが、それをまた言ってほしいということか。
 - ▷ タウンホールについても以前建て替えの要望はあったが、耐震化の方で進めていく。
耐震化に合わせての最低限の施設整備、設備の改修になろうかと思われるが、庁舎側も有効活用等がされていないスペース等があるので、その有効活用も含め可能なところを整備をしていきたい。
どういう機能を持たせるかについては地域協議会の方で来年度かけてしっかりとご意見をいただきながら整備をしていきたい。
- 住民が 300 人でも 400 人でも集まって椅子で講演会を聞けるようなものをみんなは望んでいると思う。
- 市にいろんな話をしても入口の段階で予算が無いということでもいつも話が先に進まない。機運が盛り上がって要望したとして、それができるのかどうか。
 - ▷ 匹見地域で地域振興を図るのにやはりここが中心になる施設だと思うので、他の公共施設の集約ができれば将来的にコストの削減もできるので、地域協議会にも図りながら、いろいろとご意見を聞いて方向性を決めていきたい。
- 無理な部分もあるとしてもある程度要望が通る中で改修ができると理解してもいいか。地域協議会が入った中で議論を進めて行っていただきたい。
- 健康センターも改修が必要な状況であるので、これに注力してタウンホールは基本的な耐震化だけという方向性を出さなければ今の財政状況から見ると無理と思われるが。
 - ▷ 公共施設の管理計画もあり、全ての施設に注力するという状況にはならないと思われる。
機能を集中し、優先順位についてもお聞きをしながら最終的には市で判断していきたいが、財政状況から見ると全ての要望に応えられる状況にはない。
- 合併時の未整理部分、未調整部分を先行させ、それぞれの町が積み残して計画で出したものは全部お金が無いからと後に残しているのは問題があると思う。3 つの市町を活性化させるためには旧町の核というものを作っていかないといけない。益田市も美都町もその施設があるが残念ながら匹見町はみんなが楽に座って利用できる施設ではない。そのためにいろいろな催し物ができない。その中で考え出されたのが、ここを改築してみんなが文化を楽しめるような施設にしようということであるから、それを最優先に考えるというのが市政の中で必要ではないかと思うがいかがか。
 - ▷ 耐震工事を匹見地域の活性化にどう結び付けていくか、産業や福祉を総体的に考えて中心部にあるべき施設について議論をし、一緒に考えていただきたい。
- 匹見健康センターの改修事業はどういうものか。山の道林道プロジェクト事業は大規模林道事業か。また市道内谷線の改良事業の進捗状況は。
 - ▷ 匹見健康センター改修事業費及び観光施設整備事業費（匹見峡温泉周辺整備）については、匹見リフレッシュゾーン構想に基づく温泉周辺整備に関連するものであるが、この構想の策定から 14 年経過しているということもあり、社会情勢の変化、市の財政状況を鑑み内容について内部で精査、検証を行いたいと考えている。
山の道林道プロジェクト事業は大規模林道事業であり、春日山線については、県で工事着手している。

- ▷ 未改良部分については 520m で主に町界が残っている。今年度事業については伐採と詳細設計を実施している。
- 温泉周辺関連施設は具体的には決まっていないのか。
 - ▷ 例えば温泉から運動公園までの歩道の整備も構想の中にあったが、社会情勢やニーズの変化もあるので、そういったところを検証していくという考え。
- 公園の施設もかなり老朽化しており、グランドゴルフ場等温泉に関連して拠点整備をするという意味合いで早めにやっておかないといけない。また内谷線は用地買収はかなり前にしているんじゃないかと思うので、早めに工事を行ってほしい。
- 新市建設計画の中で、3 つの事業の推進を地域協議会で協議したが、今回の主要事業との整合性は。
 - ▷ タウンホール改修事業は、支所耐震化事業の中で可能な改修を行いたい。匹見リフレッシュゾーン構想に基づく温泉周辺整備については、健康センターの改修事業費と関連施設整備事業費に繋がっている。わさびの加工場については、関係団体で検討されているが、ここで事業として要望できるまでに至っていない。
- わさび加工場については、関係団体との協議が整った段階で主要事業に上げているという理解でよいか。
 - ▷ わさび加工場は出荷の状況が厳しい状況の中であるので、まずは生産量を上げていくところを組合のみなさんと一緒に取り組んでいながら、併せて加工場の整備も関係団体と一緒にやって要望しながら、それに合った事業を探していくという状況。
- わさびの生産量は今年は特に少なく生産量も落ち続けているが、わさび生産に関して補助金での支援もしてきている。その費用対効果を行政として把握した中で指導も含めて活きる形の補助金にしてもらわないといけない。
 - ▷ 5 年、10 年先を見通して、担い手も少しずつ掘り起こしをしながら生産の維持、拡大に向けて頑張っていきたい。
- 新市建設計画のうちタウンホール改修、温泉整備、わさび加工場については、地域協議会として改めて実現するよう改めてお願いをする。
- タウンホール改修に関し、生活スタイルの変化に合わせた改修をお願いしたい。

【報告事項】

(1) 合併調整項目に係る防犯灯管理区分について <資料 2 地域振興課長より説明>

- 設置している防犯街灯については自治会へ移管することとしているが、道路照明施設設置基準に基づき設置された照明、行政財産施設内、市営住宅団地内については、引き続き市で管理を行う。なお、市営住宅内の照明設備は維持費については、その入居者で負担することとなっているが、住宅団地内がひとつの自治会となっているところもある。

《質疑・意見》

- 市営住宅団地内については益田と規模が異なり入居者が少ない。負担が大きくなるのではないか。また入居者の希望により撤去、設置を行うのか。
 - ▷ 不要なものは撤去することとなる。また住宅の管理上必要であるかどうかの判断もある。維持費の負担については自治会と協議を行いたい。

(2) 『(株) ひきみ』について <資料 3 地域振興課参事より説明>

- 匹見峡温泉の利用状況については、連休後の広島県の災害や人員の確保ができない状況がありかなり落ち込んでいる。平成 28 年度以降と比較してもかなり厳しい状況となっている。
- レストパークや中央公園については、集客に努力されており、昨年と変わらない利用状況となっている。

《質疑・意見》

- 定休日が1日増えたことにより利用者が減ったのか。
 - ▷ 定休日については、決まって月曜日、火曜日を休みにしているわけではない。広島の影響は近隣の施設でも影響が出ている。従業員が不足し厳しい状況がなかなか回復できない。
- 市と（株）ひきみとの信頼関係が構築できる体制が必要と思うがいかがか。
 - ▷ 良い関わりを持ちながら応援をしていって、意見交換もする必要があると考えている。

【その他】

- 現在の企業誘致の状況は。
 - ▷ 2社が進出及び予定。県も萩・石見空港利用促進を兼ねて取り組んでいる。
- 匹見でわさびを売り出すこととなれば、わさびの製品が無いので市の取り組みとして指導や製品化を企業に依頼する必要があるのではないか。
 - ▷ 農産物の販売促進は加工することが重要であるため、活用方法について連携をとって進めていきたい。
- 匹見の造林事業そのものが5年で打ち切りになるという話があるがどういうことか。
 - ▷ 地方公務員法の改正により、嘱託職員、臨時職員の位置づけというのが変わる。その中で今の造林班の方をどのように位置づけるか検討中であるということなので、5年で終わりであるとかはまだ何も決まっていない。
- 匹見町が実施してきた経緯からも造林事業は残すべき。
- 財産区の問題もあるので、現在の造林班の人たちが継続して働き続けられることを考える必要がある。

（１）地域協議会について <地域振興課長より説明>

- 匹見地域協議会設置条例により、設置期間は平成32年3月31日となっており、現委員は平成29年4月1日から平成31年3月31日まで。31年度はこれから選任を行っていく。